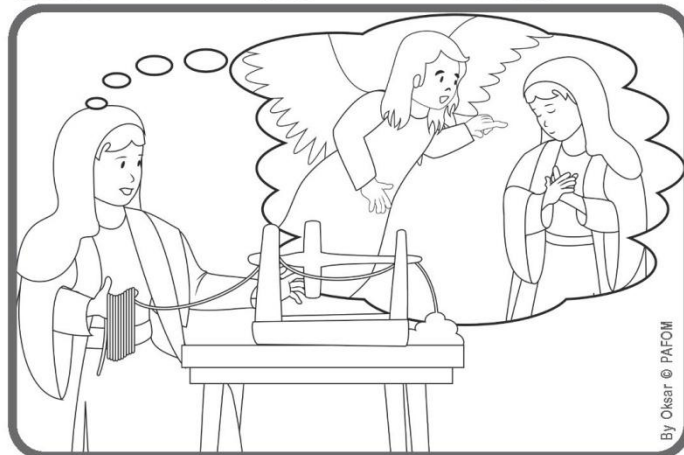


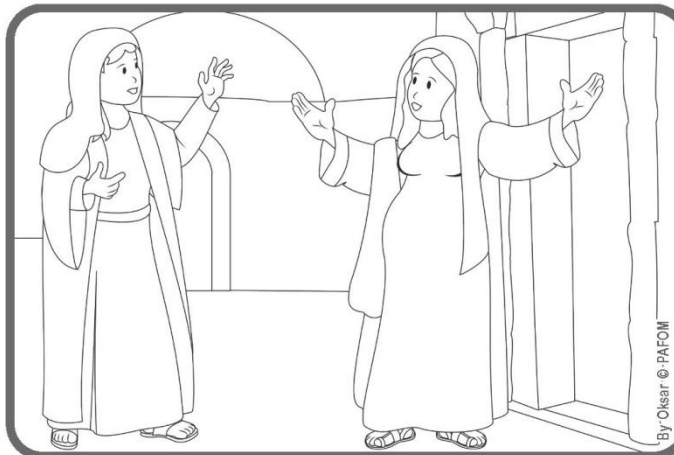


マリアさまがそうであったように、わたしたちもかみにかんしゃをささげましょう。

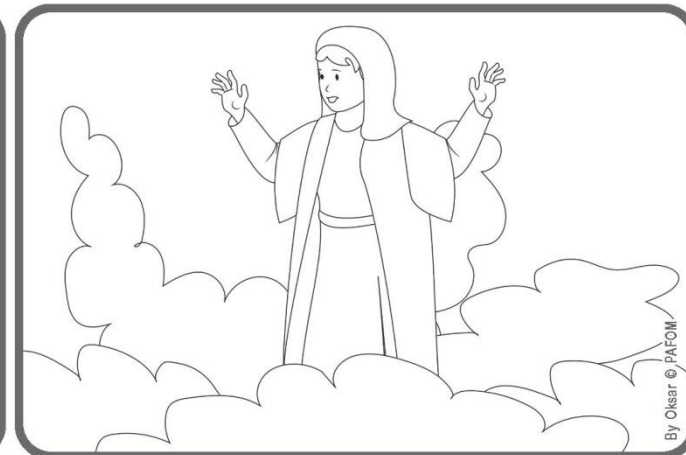
わたしのたましいは しゅをあがめ、わたしのれいは
すくいぬしであるかみをよろこびたたえます。(ルカ 1・46)



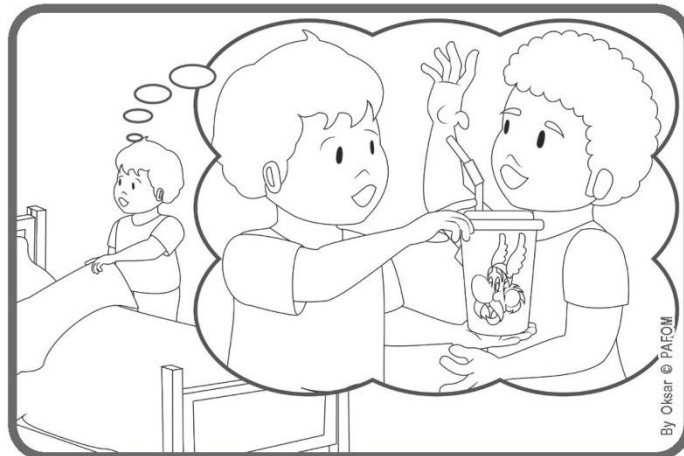
こんげつは、イエスさまのおかあさん、マリアさまをおいわします。マリアさまは とても きよい ころをもち、じぶんが もっている すべては、かみさまからの おくりものだとしていました。



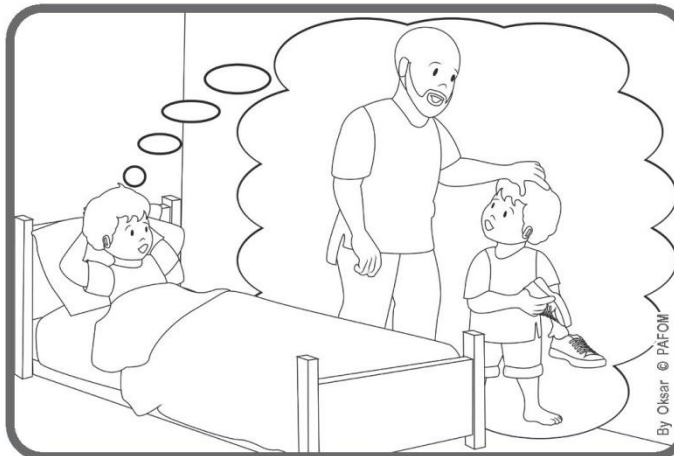
イエスさまをおなかに やどしていた マリアさまは、おなじように あかちゃんをおなかに やどしていた エリサベトにあいに きました。そして、「かみさまが すばらしいことを してくださいました！」と よろこびました。



マリアさまは、すべては かみさまから いただいたものだと していました。だから、なくなった あと、てんに あげられ、 てんごくへ みちびかれました。



ガブリエルは、きょう あいのおこないをたくさん しました。あさごはんでは、おきにいの アステリックスのコップを、それを ほしがっていた おとうとに ゆずって あげました。



それから、おとうさんに くつを かたづけるように いわれると、すぐにかたづけました。さらに、どうぶのおばあちゃんのおたんじょうびのために、みんながたのしめる なぞなぞ ゲームも よういしました。



ねるまえに、ガブリエルは イエスさまにきょう1にちのかんしゃをしました。どうぶの なぞなぞでは、「イエスさまは ほんとうにいるよ。あいすることをおしえてくださるから！」とはなそうとおもいました。